



〒104-0044
 東京都中央区明石町10-1
 聖路加国際大学礼拝堂
 TEL 5550-2416 (日曜)
 TEL 5550-7043 (平日)
 FAX 5550-7070
 E-mail: chapel@luke.ac.jp
 URL: <http://nssk.org/tokyo/church/luke>



軽井沢聖ルカハウス

軽井沢ショー記念礼拝堂

軽井沢ショー記念礼拝堂内

主日礼拝奉仕・コンサート

2018年 聖歌隊軽井沢合宿

聖書に学ぶ会

- 第1・第2日曜日 午後 聖書を読む会
 - 第1・第3木曜日 午前10時 新約聖書
 - 第2・第4火曜日 午後5時30分 旧約聖書
- 場所…旧館2階 プライベートルーム/ロビー
 日程・場所変更の場合があるため事前にご確認ください。

巻頭メッセージ

この種のもの、
 祈りによらなければ

礼拝案内

月・火・木・金曜日

■ 午前8時30分 朝の礼拝 トイスラーホール

水曜日

■ 午前8時30分 聖餐式 トイスラーホール

※第2水曜、第3火曜、第3水曜の礼拝は午前8時45分～

日曜日

■ 午前7時 聖餐式 トイスラーホール

■ 午前10時 日曜学校礼拝 チャペル

■ 午前10時30分 聖餐式・説教 チャペル

■ 午後5時 夕の礼拝 トイスラーホール

チャプレンメッセージ

この種のもものは、祈りによらなければ

司祭 シモン・ペテロ 上田憲明

弟子たちがいくらやっても、悪霊を追い出すことができない話が、マルコによる福音書九章に出てきます。イエスさまが後を引き受けて、無事に悪霊を追い出し、一連の出来事がすっかり終わった後に、弟子たちはイエスさまにこっそり尋ねます。「なぜ、わたしたちはあの霊を追い出せなかつたのでしょうか」と。それに對して、イエスさまは、「この種のもものは祈りによらなければ、決して追い出すことはできないのだ。」と答えられました。ところが不思議なことに、イエスさまがその霊を追い出す場面の描写には、イエスさまがお祈りする姿が描かれていません。ただ「汚れた霊をお叱りに」なつて、出ていくように命令しているだけなのです。イエスさまの言葉通りにとると、そこで「祈り」がなければならぬはずなのですが。

そう思つて改めてその場面を読むと、イエスさまと悪霊につかれた子どもとの父親との会話に気がつきます。イエスさまは、いつからこうなつてゐるのかと、その子と父親が苦しんできたいきさつに関心を持たれます。そのお父さんは、ずっと長い間苦しんできたことを話し、「できれば」悪霊を追い出してほしいとイエスさまに言います。イエスさまは、「『できれば』というのか？ 信じる者は、何でもできる（ここは『信じる者には何でも起る可能性がある』とも読める）」と返事をされます。その子の父親は、「信じます。信仰の無いわたしをお助けください。」と答えています。ここに、真剣な祈りの姿が現れていると思います。言い換えると、このお父さんは、すっかり態度が変わつてゐるのです。

というわけで、イエスさまのおっしゃる「祈り」には、態度も含まれてゐるのかもしれない。どんなに素晴らしい奇跡が目の前で行われても、それを受け止める態度がなければ、やがて、「単なる偶然が重なつてラッキーだった」ということになつていつてしまうからです。自分の生き方や世界を受け止める見かたが変わり、周りの人との関係もだんだん変わつていく。神様の恵みが自分の人生の中のあちらこちらに隠れてゐることに改めて気づく。現実をより広い視野から捉えていく、そういつたことも含めてイエスさまは、「祈り」とおっしゃられてゐるような気がしななりません。